

# わらんべ小径 小径がつなぐこどものあそび場

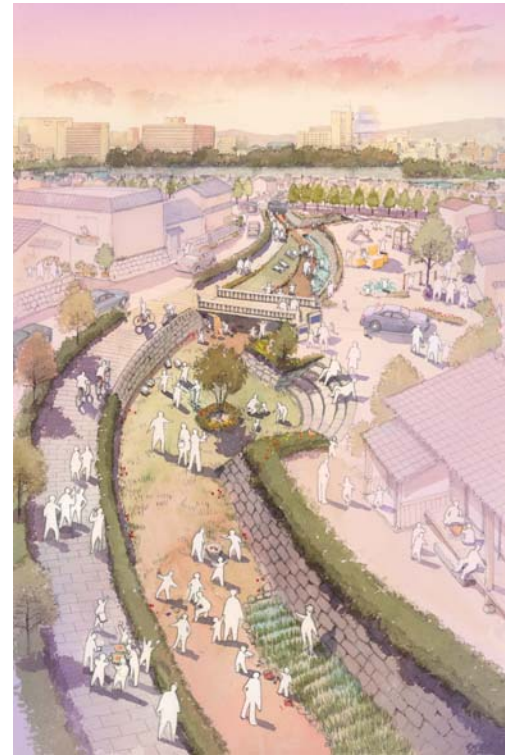
## ■まちづくりの方針

現代社会のデジタル化や都市化によって、多くの影響を受けてきた「こども」の生活を健全な形に戻すべく、「こども」を主役としたまちづくりを提案する。「大人の視点」から「こどもの視点」へと「視点の変換」を行い、まちづくりの新しい形を模索する。

本提案では、「こどもの遊び場」の再生を通じて、まちおこしを図る。昔の様に安全に遊ぶことができる「道」を再生するべく、既存の道路や低未利用地を活用した堀の道、「わらんべ小径」の整備を行う。

「こどもの遊び場」が再生されたまちに、「れきしあそび」、「しぜんあそび」、「でじたるあそび」の三つの遊びを提案する。これらの遊びを通じ、現代のこどもが失いつつあるリアルな体験を提供することができる。

こどもが安全に遊ぶことができる「わらんべ小径」のあるまちは、住む人、働く人、訪れる人など、全ての人に優しいまちとなる。福井市が誇る歴史資源を継承し、水と緑とこどもで潤う新たな都市景観と都市像を構築する。



「わらんべ小径」イメージ

## ■課題への提案

### 福井城址を核とした、周囲の緑や業務機能と調和した魅力あふれる都市・空間デザイン

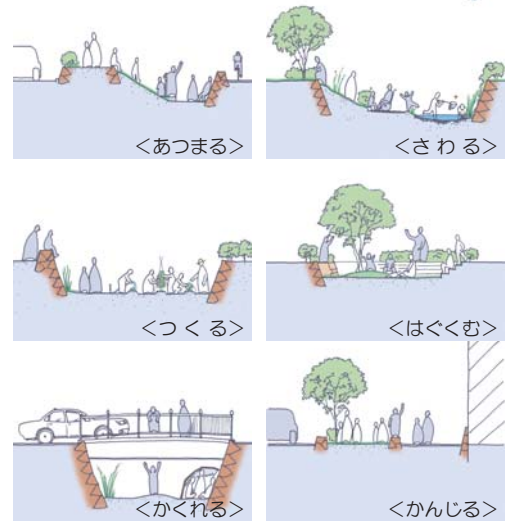
- 城址に設ける「ほんまる広場」を核として、緑豊かなこどもの遊び場である「わらんべ小径」を城址の周辺へ広がる様に配置することで、水や緑との調和を図る。
- こども関連企業を「わらんべ小径」や「ほんまる広場」を整備した中心市街地に誘致し、こどもイベントやあそびへの参画の推進により業務機能との調和を図る。

### 隣接するエリアとのつながりを意識した機能、空間デザイン

- 「わらんべ小径」が並木道や路地と結節し、城址から堀の外側へ、隣接エリアへとネットワークを展開することで回遊性向上を図る。

### 市民文化活動が自由に繰り広げられる空間

- 福井城址内の「ほんまる広場」に、かつての本丸御殿の平面形状を継承した舞台が、イベント時にはステージとなり、市民文化活動の拠点となる。
- 「わらんべ小径」及び「わらんべ小径」沿いの空き家や空き店舗などを活用し、こどもを主役とした運営を行う店舗やワークショップの場を設ける。

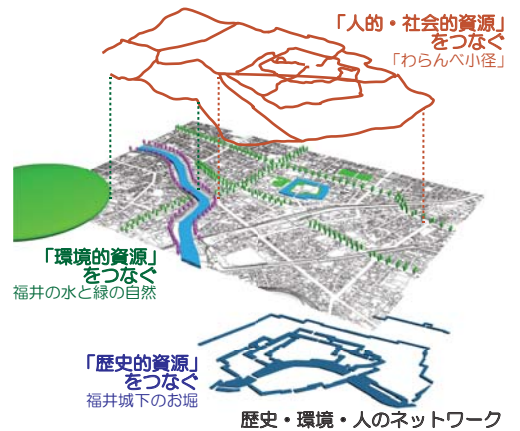


「わらんべ小径」とこどもの関係

## ■「わらんべ小径」とは

### 歴史・環境・人の資源をつなぐ都市景観

「わらんべ小径」は福井の歴史を継承すべく、かつての福井城下のお堀の位置をたどるようにネットワークされた、こどもが安全に遊べるお堀状の小径である。「わらんべ小径」は既成市街地にこどもの安全な遊び場を生み出すばかりでなく、歴史、自然、人のネットワークを担い、福井のまちに新たな都市景観を構築する。



歴史・環境・人のネットワーク



3つのあそびの提案